

2019年12月19日に駐グアテマラ大使として着任しました山元毅です。

1985年に外務省に入省以降、ラテンアメリカではブラジルやアルゼンチンでの勤務経験がありますが、中米に赴任するのは今回が初めてです。

着任以来2ヶ月が経過しましたが、常春といわれる当地グアテマラの穏やかな気候の中、グアテマラ政府・民間の人々の暖かい人柄に日々触れながら、大使としての職務を開始しております。

グアテマラでは本2020年1月にジャマテイ大統領が率いる新政権が誕生しました。新政権は発足当初から、経済再活性化や治安問題に加えて、貧困層を対象とした教育・栄養問題の改善などの社会開発面での諸課題に意欲的に取り組む姿勢を示しています。日本は1975年以来今日まで、有償・無償資金協力や技術協力といった政府開発援助のプログラムを活用して、教育・保健、環境、防災といった分野を中心に、グアテマラの社会経済発展に協力してきました。本年はJICAの海外協力隊員グアテマラ派遣30周年の節目の年に当たります。先日大統領宮殿で行われた30周年記念式典には、自身が若い頃日本の青年協力隊員からバスケットを教わった経験があるカスティージョ副大統領が出席し、協力隊派遣をはじめとするこれまでの日本の援助に対する深い感謝の念が表明されました。このように日本の開発協力はグアテマラ社会から高く評価されており、日本政府は引き続きグアテマラの発展に協力していく考えです。

本年春には、JAXA（宇宙航空研究開発機構）と国連宇宙部との共同プロジェクトの一環として、宇宙ステーションの日本実験棟「きぼう」から、人工衛星「ケツアル1」が放出される予定です。「ケツアル1」は、当地バジェ大学の若手研究者・学生が中心となって製作を進めたグアテマラ初の超小型人工衛星であり、宇宙空間放出後はグアテマラ中央部に位置するアティトラン湖の汚染状況モニタリングを行います。グアテマラの科学技術面での高いポテンシャルを示す本プロジェクトに日本が協力していることを誇らしく感じます。また東京2020オリンピック・パラリンピック大会では、奈良県田原本町がグアテマラのホストタウンとなり、グアテマラ選手団との間で様々な交流イベントが計画されています。このように日本とグアテマラの交流が新しい文化に拡大していく兆しがある中で、新しい日本大使として着任できたことを幸運に感じています。

日本およびグアテマラの皆様のお力添えを得つつ、二国間関係の発展のために微力をつくしていく所存です。

2020年2月 山元 毅